

肝炎地域コーディネーターの概要

1 肝炎地域コーディネーターの活動内容

肝炎地域コーディネーターは、職場や地域において、肝炎ウイルス検査の受検を促し、肝炎の早期発見、早期受療につなげるとともに、肝炎患者の地域での生活や仕事との両立支援を推進する。

2 肝炎地域コーディネーターになるには？

(1) 対象者

保健所や保健センターの肝炎事業担当者、民間企業等で労働者の健康管理を行う者、肝炎患者会会員等

(2) 方法

指定の研修を受講し、試験に合格した者に対して、修了証書（知事名）が交付される。
有効期間は、研修当日から、受講した年の5年後の末日までとする。

（例）令和3年度の研修（開催日：令和3年11月2日）に受講した場合の有効期間
→ 令和3年11月2日（開催日）～令和8年12月31日

(3) 研修の概要

「肝炎地域コーディネーター養成研修会」において、講義受講後に肝炎地域コーディネーター試験を実施する。（別添研修プログラムのとおり）

(4) 受講料

無料